



発行所
高知県立盲学校
高知市大膳町 6-32
TEL 088-823-8721



令和六年度 始まる！

皆様、いつも盲学校のことを応援くださり、ありがとうございます。

今年度は、児童生徒16名(昨年度より2名減)、教職員61名でスタートすることになりました。子どもたちの数は減っていましたが、もちろん新入生も迎えることができました。より一層、パワフルに色々なことにチャレンジしていきますので、変わらぬご支援・ご声援のほど、よろしく申し上げます。今年度は昨年度以上に学校行事を通じて、地域の皆様との交流や盲学校の魅力をお伝えする機会を図りたいと存じます。どうぞよろしくお申し込み申し上げます。

令和六年度入学式！

【高等部入学式(新入生3名)】

今年度は新たに本科普通科2名、本科保健医療科1名の計3名の入学生をお迎えしました(うち2名は内部進学生)。学校長の入学許可に続き、新入生を代表して、高等部本科普通科1年に入学する井上羽咲さんが、入学後の抱負や身につけたいことを宣誓として披露しました。教職員一同、保護者の皆様と一緒に夢の実現に向けて決意を新たにしました。



夢に向かって！



新入生を代表して！



【4月】

「新入生歓迎セレモニー！」
楽しみにしていた新入生歓迎遠足も残念ながら雨で中止になりました。毎年恒例のせつかくの歓迎行事。遠足で用意していた企画を校内で実施することになりました。在校生を中心に様々なゲームで新入生をおもてなし！お陰様でみんなとの距離が急速に縮まりました！



皆で綱引きや大玉運びも！



「寄宿舎生活も始まる！」

盲学校には遠方から通学する子どもたちのために寄宿舎もあります。

今年度から寄宿舎生活を始めた舎生もいます。家庭で生活していた今までは違い、細かいことも最初はあることと思います。それ



でも、寄宿舎の先生や仲間のみんなと力を合わせて共同生活も乗り切っていきます。朝食、夕食もみんなと一緒に「いただきます！」



「畑も始まって！」

地産地消という言葉もすっかり定着してきました！盲学校の給食でも校庭の畑で採れた野菜が献立の一部として、提供されることもあります。今年もまずは種を植える前に畑を丁寧にしていきます。食育で学習していても、実は種を植える前の畑がどうなっているか知らない子どもたちも少なくありません！何事も体験や経験が大切です。先生たちがやっている仕事を一緒に体験してみました！これから給食がもっと楽しくなると思いますね！

土を柔らかく、起こして



【5月】

「土佐和紙を実際に漉いてつくってみよう！」

(地元の素材について知ろう！)
昨年に引き続き、地元の伝統工芸について学習しています。今回も土佐和紙デザイナーの西村さん、職人の田村さん、田岡さんとともに学習しています！

今日は実際に紙漉きに挑戦しています！もちろん材料のこうぞやみつまたことも復習しています！みんな色々な工程に挑戦して、賞状ぐらい大きさの和紙を作っています。



紙漉きに挑戦！



繊維を絡ませるように！



しわを伸ばして、平らに！

「かわいいお店屋さん！(小学部)」

廊下を歩いていると何やら賑やかな声が聞こえてきました！
「いらつしやいませ！」
「なににしますか？」
「おつりは・・・です！」
まるで本物の店員さんと話しているみたいですね。日頃の国語や算数の勉強が役に立っていますね！
それじゃあ、私もお客さん役になって・・・えっ！もう店じまいですか？



「高知県障害者スポーツ大会！」

(出場選手全員メダルの快挙！)
今年も高知県障害者スポーツ大会に盲学校から4名の選手が出場しました。昨年度は本校から出場した2名の選手が鹿児島で開催された全国特別障害者スポーツ大会の高知県代表に選出され、メダルを獲得。今年度は鹿児島大会にも

出場した2名の選手に加え、初出場となる高等部本科普通科の2名の生徒を加えた合計4名で陸上競技・水泳競技に参加。見事4名とも金メダルを獲得しました。うち1名は今年度、秋に佐賀県で開催される全国障害者スポーツ大会の高知県代表にも選出されました。おめでとうございます。



陸上競技 200m走
第1位(2連覇)
アレキサンドル勇希
クリスティアン 選手



陸上競技 50m走
第1位 岩本龍勝 選手



陸上競技 立幅跳
第1位 高橋星風 選手

【6月】

「第50回 中国・四国地区盲学校弁論大会」

校内弁論大会で、最優秀賞と優秀賞に輝いた高等部の2名の生徒が出場し、奨励賞及び特別賞を受賞しました。このうち、校内弁論大会の最優秀賞を受賞した高等部本科普通科3年生の田邊 青さんは高知県代表弁士として参加。代表弁士に選出されてからは、お母さんと二人三

高等部生徒 2名が出場！」

中国・四国地区盲学校弁論大会

高等部生徒 2名が出場！」

校内弁論大会で、最優秀賞と優秀賞に輝いた高等部の2名の生徒が出場し、奨励賞及び特別賞を受賞しました。このうち、校内弁論大会の最優秀賞を受賞した高等部本科普通科3年生の田邊 青さんは高知県代表弁士として参加。代表弁士に選出されてからは、お母さんと二人三

脚で原稿づくりに取り組んできました。何度も練習を重ね、大会当日は「盲学校でがんばっていること」と題して、各県代表の弁士に交じって発表しました。発表では盲学校に入学する前から少しずつ見えにくさが進行していった時の心情と盲学校入学後のある教員との出会いをきっかけに音声パソコンに取り組み、少しずつ自分を表現できるようになった喜びや自信を青さらしい静かな口調で力強く訴え、聴衆を感動に包み込んでいました。発表の際、パソコン機器のトラブルに見舞われたのですが、どんな困難にもめげず、お母さんと歩み続けた絆と真の強さで、最後まで堂々と弁論発表することができました。会場では、青さんのお母さんも発表を最後まで見守り、最後列でじつと聞き終えた瞬間、うっすらと両目に光る涙がまた言葉にならない感動を生みました。

また、高知大会では、審査時間中のアトラクションとして、高知市在住のピアノリスト、藤原鈴佳 様による生演奏も行われ、大会を大いに盛り上げていただきました。



アトラクション演奏



「盲学校でがんばっていること」
田邊 青
第50回中国四国地区盲学校弁論大会
奨励賞



演奏のお礼！

「はみがき教室！（小学部）」
皆さん！はみがきは、得意ですか？苦手ですか？子どものころは私も大の苦手によく泣いていたそうです。虫歯の怖い絵を見て、大切さに分かっているつもりですが、歯ブラシの歯茎に触る感覚が何とも言えない違和感が…。でも、大好きな給食やおやつのためには、今のうちから正しいはみがきを身につけておきましょうね！やさしい保健室の先生も一緒ですからみんな、頑張ってください！



「中央公園で学地フェスタ！」
県内の学生さんが中心となって企業と連携して、高知の魅力や日頃の取り組みを紹介するフェスティバルが中央公園で開催されました！盲学校からは中高等部の一部の生徒が参加して、リンベルさんとコラボ企画したパンや弁論大会の表紙を飾ったポストカードなどを販売して盲学校をPRしてくれています。高知の若い力を感じています！

大きなイベントで販売するのは大変でした！



おかげさまで
完売！（笑顔も）

「NHKの皆さんがやってきました！」
（体験授業：放送ができるまでの仕組み）
県内の様々な学校とNHKラジオ放送が共同で番組作りなどを行うプロジェクトがあります。今年度は盲学校のみんなと一緒にラジオ番組を作っていきたいとお誘いがありました。
まずは、みんなが日頃、見たり聞いたりしているテレビ番組やラジオ番組がどのように制作されているか体験授業を通して知ってもらうためにNHKの皆さんが説明してくれました。
どうです！たくさんの方のスタッフの皆さんの様々な仕事が集まってやっと放送できるまでになるのですね！
初めて知ったみんなも多かったようです！次の企画に向けて宿題も出ていましたね？次はどんな体験授業になるのか楽しみです！

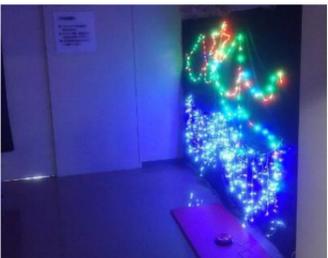


番組づくりの工程を説明！



カメラ目線でパッチリですけど…

「キッズバリアフリーフェスタに
参加しました！」
今年も高知市朝倉の福祉交流プラザでキッズバリアフリーフェスタが開催されています！盲学校からも教員が参加し、教材教具の紹介や新たに設けた光遊びのコーナー展示の説明などを行い、多くの皆様に視覚障害教育に触れていただきました！会場では盲学校の子供たちや保護者の方も来場され、熱心に福祉機器の説明を聞いていました！



光遊びコーナーは大人気でした！

【7月】

「鏡川でカヌー体験！
（風を感じ、川へ漕ぎ出せ）」

高知県障害者スポーツセンターの方や地元のカヌークラブの皆さんのご協力で盲学校近くを流れる鏡川で体験することができました。当日はカヌークラブの方々の指導を受け、一緒にカヌーへ乗船？ゆったりとした川の流れと風を頬に感じながら、いざ出航！少しずつ漕ぎ方も体が覚えて、白鳥のように優雅な鏡川クルーズを満喫しました。高知市内でこんな自然体験ができたことにみんな感動していました。



教員による盲学校の教材教具の説明にも高い興味関心が集まっています！



「防災出前授業！
（地震の教訓・災害史に学ぶ。
高知城歴史博物館）」
防災学習の講師として高知城歴史博物館の方が来校されました。講義は同博物館学芸員の水松啓太さんを中心に小学部から専攻科理療科まで

で児童生徒全員で受講しました！小学生でもわかりやすいように津波発生の模型やプレートが跳ね返って地面が揺れる模型などを使って体験的に学ぶことができました！なぜ歴史博物館の方が・・・と思ったかもしれませんが、後半のお話では、高知県内に残る過去の南海トラフ地震の記憶や教訓を刻んだ石碑の紹介（模型）があり、実際に手に取って触り、まるでお墓のようにみえる石碑にもちゃんと意味があることを学びました！昔の人が過去の災害の教訓をなんとか後世に伝え、未来の高知県民が悲しまないように残してくれた暖かい命のリレーだったという意味を改めて知りました！
高知城歴史博物館の方は9月2日の盲学校防災デイキャンプに来てくれたり、10月には2回目の講義があります。みなさんお楽しみに！



水松啓太さんによる講義！



南海トラフ地震の教訓を伝える石碑（模型）



作品名
モーレツさわち



「紙とあそぼう」展表彰式！（小学部）
高知県製紙工業会理事賞を受賞！

編集後記

一心不乱によさこい祭りの練習をしている地域の方々をお見掛けしました。一瞬のために個々が努力を重ねる姿。子どもたちにも夢や情熱をもち、目標に向かって、みんなとながめることの素晴らしさを味わって欲しいと思います。2学期も地域の皆様、ご理解、応援のほどよろしくお願い申し上げます。